子育てサロン ～だっこ～

開催しました!

2016 年

①7.26(火)　②7.29(金)

③8.23(火)　④8.26(金)

暑い夏の日、子育てを楽しむヒントを探しに..

今年もたくさんの親子が来校

[地域とつながり、ママ友の輪をつなげる]

藍野大学短期大学部の専攻科(地域学専攻)では、4 年前に学生と教員による子育てサロン“だっこ”をオープンさせました。

地域貢献の一環として、母親の居場所づくりを目的に開催された子育てサロン、今年も盛況となりました。

母親同士の交流の場

今までの友人関係が疎遠になりやすいといわれる出産や育児。特に核家族化が進む現代では、相談しようにも周りに頼れる人がいないことが多いようです。

そんな中、子育てサロン“だっこ”は育児の不安を解消できるきっかけになる他、月齢が近い子どもを持つお母さん同士の交流ができる場となっています。

お話を伺ったところ、ママ友を作る機会がないというお母さんは少なくありませんでした。子どもが保育園や幼稚園に行く年頃になれば別かもしれませんが、産まれて 1 年未満の子どもを持つお母さんにとって、ママ友づくりはなかなか難しいようです。

参加者は、茨木市や高槻市という近隣の方々がほとんど。ご近所さんで、かつ、子どもの年齢が近いお母さん同士、初めましてでも楽しく会話が弾んでいるのが見受けられました。“だっこ”以降もそのつながりが続くことを願います。

実施内容

赤ちゃん体操

スキンシップにより、愛着やコミュニケーション能力等の発達に効果があるといわれている赤ちゃん体操。学生のお手本をみながら、「いっぽんばし」や「ぞうきんの歌」などを一緒に行い、子どもたちの弾けるような笑顔に会場全体も笑顔いっぱいになりました。

身体計測

母子健康手帳に、身長や体重を計測して記録します。泣いてしまう子もいましたが、順調に発育していることを確認しました。

実施内容

手作りオモチャを作ろう

ビーズやフェルトを使って、世界に１つだけのガラガラやモビールを作成。お母さんのセンスが光る作品が沢山できあがりました。作成中は学生に子どもをあずけ、集中することができます。可愛い小物を目の前に、楽しそうにはしゃぐお母さんたちの姿がありました。

事故予防・育児のイライラ解消

赤ちゃんを守ろうというテーマで、学生がお家のイラストを使いながら事故の起こりやすい場所について説明。気をつけないといけない点が沢山ありました。また、育児ストレスについて勉強。身体に出る反応やその解消法についてヒントを学びました。

絵本を読んでみよう

図書館司書より、絵本の特徴や効果について説明、２冊ほど全体で絵本読みを行いました。その後は用意された様々な絵本を手に取り、お母さんたちが思い思いに読み聞かせをしていました。

貴重な自分だけの時間

[目の届く場所で、ひと時子どもと離れる]

お父さんも手伝ってね！

全ての回で実施していた、オモチャを手作りする時間。学生に子どもをあずけて、お母さんだけでオモチャ作りに取り組みました。色とりどりのビーズや可愛いフェルトを前にして、どれを使おうかどんなデザインにしようか…そんな風に１人でじっくり悩む時間はとても久々だったという感想を耳にしました。

普段は、子どもの安全に気にかけて目が離せないもの。家の中では子どもと２人きり、自分だけの時間を持つことはほぼありません。育児中は自由な時間が持てないことがストレスになると、藍野大学 作業療法学科の飯田教授はいいます。イライラの解消法として、週に１度は自分の時間を作ることを推奨していました。それにはお父さんの協力が必要不可欠！配られたレジュメを見せて堂々と頼みましょうという教授からの提案に、お母さん方は大きく頷いていました。

本学の子育てサロン"だっこ"では、看護師資格を持った学生たちが子どもたちの相手をしてくれるので、暫くの間ではありますが子どもと離れる時間を作ることができます。離れるといっても目の届く場所なので安心して作業に集中することができ、お母さん方にとってはリフレッシュできる貴重な時間を持つことができたようでした。

来年も開催します

今年もすぐに予約でいっぱいになった子育てサロン"だっこ"。来年も夏の時期に開催予定です。

暑い時期ですが、より良い母親の居場所づくりを目指していきますので、お楽しみに！